

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	トンガ王国
2. 事業名	ブレッドフルーツ (BF) の有効利用と新規加工品開発による住民の生計向上と健康改善 (草の根技術協力パートナー型)
3. 事業の背景と必要性	(1) 事業の背景 FAO(国連食糧農業機関)によればトンガは世界一、肥満率の高い国であり、食生活の急激な西洋化により、 深刻な健康問題 を抱えている。輸入食料の購入など現金支出の必要性が高まる中、1980年代のカボチャ輸出の破綻で貴重な外貨獲得産業を失い、農家の 経済的苦境 が続いている。基幹産業である農業では十分な所得が得られず、労働力は海外出稼ぎへと流出し、更なる 国内農業の停滞 を招いている。輸入食料依存体質が深まる一方で、 伝統的食料資源の利用率の低下 も著しい。 (2) 事業の必要性 輸入食料への依存度のさらなる上昇が、成人病蔓延と貧困化を深化させている。輸入食料への依存度を低減し、人々の生活を改善するためには、住民の 伝統的食料資源の再認識と利用 を促進させる必要がある。さらに、廃棄率の高い伝統的食料資源から 現代的加工食品を創出 することによって 新たな所得源 を確保し、地域住民の 生計向上を図る 必要がある。
4. プロジェクト目標	トンガタブ島において、BFの有効利用と新規加工品開発により住民の生計が向上し健康状態が改善される。
5. 対象地域	トンガ王国トンガタブ島
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	トンガタブ島の6つのコミュニティーの農家・住民、農業関連民間セクター
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 住民のBFの有効性に対する認識が深まることにより、BFの利用度が高まる。 2. BFの一連の栽培技術が改善され実践される。 3. 開発されたBF加工技術が定着する。 4. BF加工品の国内販売および輸出が促進される。 <活動> 1-1. BFの賦存量・利用状況に関する世帯調査をおこなう 1-2. BFの伝統的利用方法に関する情報を収集する 1-3. BFの栄養成分や機能性を分析し科学的知見を得る 1-4. Cooking Workshopを実施する 1-5. BFのレシピ(健康啓発の要素を含む)を作成する 1-6. 個人・グループでの小規模加工・販売の啓発をおこなう(BF食品加工にかかるWS) 2-1. BFの増殖技術を確立する 2-2. BFの苗木を地域住民に供給する 2-3. BFの栽培技術研修テキストを作成する 2-4. BFの栽培技術研修(剪定・収穫・ポストハーベスト技術)をおこなう 3-1. BFの新規加工商品(BF粉および冷凍BF)を開発する 3-2. BFの新規加工商品の製造技術を開発する 3-3. BFの新規加工商品の原料調達方法、生産体制(機械・労働者の配置など)を構築する 3-4. BFの新規加工商品の加工マニュアルを作成する 3-5. BFの新規加工商品の加工研修を実施する 3-6. BF加工施設の衛生管理マニュアルを作成し研修をおこなう 3-7. 対象コミュニティーにて加工施設で働くスタッフのリクルート活動をおこなう 3-8. 本邦研修を実施し、日本の食品加工技術、生産管理方法を学ぶ 4-1. BF加工品の国内販売と輸出に取り組む(①国内・海外の市場調査、②営業/販売活動) 4-2. 輸出相手国の食品衛生や輸入制度、必要な法的手続きなどについて情報収集し共有する 4-3. 本邦研修を実施し、食品加工品のマーケティングに関する知見を学ぶ
8. 実施期間	2017年3月～2023年2月(6年0ヵ月)
9. 事業費概算額	68,113千円(消費税込 72,245千円)
10. 事業の実施体制	学校法人東京農業大学、トンガ王国の現地NGO(Mainstreaming of Rural Development Innovation Tonga Trust(MORDI TT))、農家・コミュニティー、農業関連民間セクター(Nishi Trading Co.Ltd.)、農業省等が連携して事業に当たる。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	東京農業大学
2. 活動内容	農学系教育・研究をおこなう機関である。

(注：A4用紙 **1枚以内**にまとめてください)